



宮田 勝美 議員 (無会派)

一問一答方式

中心市街地活性化の取組みと進捗状況は

問.....

前期中心市街地活性化基本計画の事業内容は、

問.....

前期計画により町がどのように変わったか。

答(市長).....

前期計画(平成21年〜25年)では、「町家の心が息づく語らいのまち」をテーマに、主にハード事業を実施した。

答(市長).....

東日本大震災の影響による賑わいの減少傾向を緩和したとはいえ、回復には至っていないと捉えている。

問.....

2期目(後期計画)

では市内を回遊とあるが、どのようにイメージしているか。

答(市長).....

イベント時の効果そのものが、通常の平日及び休日の日常的な賑わいに充分につながっていないとまだいえず、イベント時の回遊の動きを日常的なものにしていくことが、今後の課題と認識している。

問.....

2期目では市内各商店街にどのような変化が現れ始めているか。

答(市長).....

中心市街地においては、空き店舗の改修による新規起業が増加。先行起業者の取り組みが周辺商店街へ波及し

ていると考える。

問.....

中心市街地活性化と遠野市の財政との関連性は。

答(市長).....

健全な財政運営を図る上で、固定資産税を安定的に確保するためにも、中心市街地の活性化は重要であると認識している。

ライフラインの耐震化の現状は

問.....

水道施設の耐震化の更新状況、東日本大震災時の被害状況及び他市町村との応援体制についての現状は。

答(市長).....

水道ビジョンでは、

「耐震化推進事業」を活用し、8年後の西暦2026年までに約24.0kmの老朽管更新を実施し、耐震管適合率を56.7%まで向上させる計画である。

問.....

下水道管路施設の地震対策、耐震化の取り組み状況及び地震が発生し被害が出た場合の対応状況については。

答(市長).....

大規模地震が発生した際には、その機能を維持または早期回復することが必要不可欠であることを踏まえ対応計画を定めている。

答(市長).....

実態把握ができていない状況。国ではガイドライン、県では指針を示している。連携を図り対策を考えていきたい。

問.....

古民家・古材のさらなる再生・活用に取り組みべきでは。

答(市長).....

市内に150棟ほど確認されている。誇るべき地域資源であり、マンパワー集団との連携を図りながら取り組むことも大事である。地域づくり・町づくりへの活用を考えたい。

問.....

民話・童話・妖怪を活用して親子・家族で楽しめる地域活性化の取り組みが必要では。

答(市長).....

ドイツのシュタイナウ市や福岡町、大府市、武蔵野市等、都市間交流にも活かせる。知恵と工夫、アイデアなど情報共有しながら、魅力づくりにつなげたい。



小林 立栄 議員 (無会派)

一問一答方式

生活に安心を

問.....

※不育症で悩んでいる方への取り組みは。

答(市長).....

心配り、気配りが大事である。切れ目ない子育て環境の中で、相談・ケアに対応できる体制を構築したい。

答(市長).....

認知症サポーター養成講座を開催し3082人が地域における応援者となっている。認知症地域支援推進員を地域包括支援センター内に配置し、本人の意思や能力を尊重した寄り添いの充実にも取り組んでいる。

問.....

本人の意思や能力を尊重した寄り添いを大事にする認知症支援が大事では。

問.....

若年性認知症の方への支援は。

答(市長).....

地域包括支援センターと福祉の里が連携して支援に努めている。県との連携を図る役割も果たしたい。

問.....

がん患者への緩和ケアや※アピアランスケアを、自宅や住み慣れた地域で行える体制が必要では。

答(市長).....

緩和ケアは人間の尊厳の取り組み。慎重に対応する課題であり、情報収集を図りたい。

問.....

がん治療と仕事の両立を支援する仕組みが必要では。

地域資源を活かした遠野の元気創出を

問.....

全体構想や指針をもつて芸術文化振興に取り組むべきでは。

答(市長).....

地域の活力、遠野の魅力を引き出していくため、振興条例制定について積極的に検討する。



「民話の道」の再活用も必要ではないか。